

# 就学援助「準要保護」の支給費目の拡大を



板倉真也 (日本共産党)

の。三多摩26市のなかでも費目を追加するところはないので、現状でご理解をいただきたい。

②(ア)貫井北町地域センター、けやき保育園及びピノキオ幼児園移転改築等工事に対して、市内業者から機械設備工事の細分化発注を求める意見が寄せられた。今後、同程度の建築工事案件が出てきた場合には、機械設備

備工事の細分化発注を行うべき。(イ)公契約条例案の議会上程はいつになるのか。(ウ)2017年度以降に創設が予定されている住宅リフォーム助成制度の前倒し実施を。

総務部長 (ア)国や他自治体の発注方法も参考としながら、分離発注の区分を研究していきたい。(イ)現時点で明確にスケジュールを示すのは難しい。

まちづくり推進課長 (ウ)耐震改修に向けた事業を重点的に行っていくため、現行の制度で進めさせていただきたい。



就学援助の拡充で子どもたちに明るい明日を

# パパ・クォータ制で職員の意識改革の促進を



漢人明子 (みどり・市民)

少子化が進み、男女平等が進まない日本では、いまだに女性に家事育児が担われ、男性は仕事に時間とられて人間的な子育てや地域での暮らしが奪われている。ワークライフバランスを進め、男女ともに総合的に人間性の保てる人生を送れる社会をつくりたい。

(ア)6年目の「小金井市職員次世代育成支援プラン」子どもの未来を育むために「の実施状況を把握する庁内検討委員会の開催状況。(イ)女性が少ない委員構成の改善。(ウ)プランの「具体的な支援策」の未実施項目と方針。(エ)男性の育児休暇の取得率。(オ)男性の出産支援休暇の取得率目標65%達成の見通し。(カ)パ

パ・クォータ制＝男性職員の育児休暇の義務化を導入しないか。

総務部長 (ア)開催していない。今後については協議する。(イ)課長充て職で8名中2名、必要に応じて委員会に対応。(ウ)庁議や部長会での意識啓発は未実施、全庁的周知に努めている。(エ)計画目標10%に対し17%。(オ)取得しやすい職場環境作りに努める。

市長 (カ)公務員への厳しい視線の中、新たな休暇制度は難しい。少子化対策、ワークライフバランス、男女共同参画などからは考えていく施策だと思う。



20年前にパパ・クォータを制度化したノルウェーで就任中に4か月の育児休暇を取った子ども平等社会大臣

# ヘルプカードを作成・活用・周知しないか



紀 由紀子 (公明党)

①防災対策の拡充について。(ア)東日本大震災の時、津波の放送が分からないまま亡くなったろう者がいた。ヘルプカード(障がい者が携帯し、いざという時に必要な支援や配慮を周囲にお願いするためのカード)を活用・周知しないか。(イ)独り暮らしの高齢者に、倒れた場合、

迅速な救急活動につなげる、命を守る「救急情報ネットワーク」を配布しないか。(ウ)妊産婦・乳児に専用の避難所を設置しないか。

福祉保健部長 (ア)都の補助事業を活用し、作成を検討してまいりたい。(イ)議員から要望のあった救急医療情報キットについては、災害時要援護者名簿の方に配布を検討している。救急情

報ネットワークは研究課題。

危機管理担当部長 (ウ)都の地域防災計画の中でも、妊産婦や幼児の保護や適切な栄養の確保が明記されている。努めたい。

②災害時における栄養・食生活支援について。(東日本大震災で避難生活が長期化する中で体調が悪化する人が増えた。栄養バランスや疾病への配慮が重要だ。)小金井市版「災害時の栄養・食生活マニュアル」を作成しないか。

福祉保健部長 作成する必要がある。検討していく。



あなたの支援が必要です。

# ヘルプカード

「あなたの支援が必要です」を伝えるカード

# 子ども参加の取組で、いじめのないまちを



田頭祐子 (みどり・市民)

なく予防プログラムも導入せよ。

学校教育部長 (ア)いじめの疑いがある事例には面談、他機関との連携等迅速に対応。(イ)いじめを許さない環境作りは重要で、予防プログラムを参考に研究。

②障がい者就労を市内から進めよ。(ア)就労支援センターは市民課の奥にあり精神障がい者には行き難い。位置は適当か。(イ)

庁内執務室での実習は就労にも、職員や市民の障がいへの理解にも効果的。一歩進めて、知的・精神障がい者を短期間雇用するチャレンジ雇用に取り組みないか。(ウ)平成25年4月から障害者優先調達法が施行される。雇用の場を広げる調達方針の策定は。

福祉保健部長 (ア)人前を通るのは社会に出る訓練の意味もある。相談は予約制で2階相談室で対応。(ウ)国や都、他市の動向を注視して対応したい。

総務部長 (イ)全庁的取組になる。関係部局と連携し研究。

# 待機児の解消は急務。市の方針を問う



森戸洋子 (日本共産党)

①市の待機児解消方針について、喫緊の課題であるが、この2年で待機児は91名から138名に増えている。(ア)JR高架下の保育園とけやき保育園の新築で定員は何人増えるか。(イ)国の法改正により、今後は保育の実施主体が市区町村へ移管される。また、認可外の保育は一時的保育

とみなされず、認可保育園に入れない恐れがある。認可保育園の増設で待機児の解消を行わな

子ども家庭部長 (ア)高架下は60名定員で認証保育所。けやき保育園は19名の定員増。(イ)平成25年度にニーズ調査、平成26年度には子ども・子育て計画をつくっていく。その中で、新設が

必要かどうか検討する。

②コバスの東町や中町循環について、かねてから改善を要求してきたが、中町循環について東小学校付近など停留所を増やさないか。

都市整備部長 運業者、道路幅員、交通規制や既存の公共交通機関との共存共栄など総合的に判断していかなければならない。また、地域公共交通会議で、コミュニティバスの導入ガイドラインの策定を協議し、基準をつくることになる。その中で検討していく。

# 「スポーツ祭東京2013」の成功を願う



中根三枝 (自民党小金井)

平成25年9月28日から10月8日まで第68回国民体育大会が、10月12日から14日まで第13回全国障害者スポーツ大会が「スポーツ祭東京2013」として行われる。各市1種目から3種目を担当、小金井市では弓道とバスケットボールを行うので成功させたい。(ア)気運醸成のための

事業計画は。(イ)諸イベントでスポーツ祭東京2013実行委員会から出費されて、タオルやボールペン等が配られているが国体周知のためであることを告げてはいかがか。(ウ)キャラクター「ゆりーと」の命名者は小金井市在住の小学生、小田島京香さんが表彰する考えはないか。

生涯学習部長 (ア)スポーツ関

係団体や商工会及び商店街など連携した機運醸成事業にも取り組みたい。またロンドンオリンピック、パリリンピックに出場した選手のスポーツ教室やトークショー、ゆりーとダンス活用委託事業、小金井グルメ団体委託事業、商店街フラッグ設置事業、ゆりーとポスターコンクール事業等考えている。(イ)ご意見を参考にさせていただきたい。(ウ)既に都の実行委員会から最優秀賞が贈られている。2年ほど前の話で現時点であれば記念品の贈呈など検討したい。